

# キャリア教育産学官交流会のきっかけ、歴史

## <第1回から共通する思い>

「よいよい地域づくり、次世代育成のために、お互いを知り、産学官で意見・情報交換、交流、実践をしましょう！」

回 (開催場所)	・主な流れ ☆特徴
<b>第1回(伊那市)</b> 参加者数：91名 (産50名、学23名、官18名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問（KOA、サン工業のトップの方より講演）</li> <li>・産学官代表者によるパネルディスカッション</li> <li>・全参加者による意見交流会</li> </ul> ☆予算なし年次計画なしの中での実践。行政は伊那市中心の参加者、学校関係者参加少なめ。会としては大いに盛り上がり、継続の必要性と上伊那8市町村の連携、小中高大の連携の必要性が挙げられた
<b>第2回(箕輪町)</b> 参加者数：161名 (産：65名、学47名、官49名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に即した事例から学ぶため「事例発表」スタイルへ</li> <li>・開催地を中心として、産学官の4事例を共有し、全参加者による意見交流会</li> <li>・参加者が自由に意見を語り合い、会の最後に自分の意思表示を行うスタイル</li> </ul> ☆広域で学び合うため上伊那8市町村で会場を持ちまわることになる。上伊那の教育委員会の協力・協働体制へ。高校・大学からの参加あり
<b>第3回(駒ヶ根市)</b> 参加者：274人 (産：60名、学117名、官75名、議会9名、PTA15名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上伊那校長会と上伊那広域連合による上伊那展開の意義の対談実施</li> <li>・開催地を中心として、産学官の5事例を共有し、全参加者による意見交流会（参加者が自由に意見を語り合う、会の最後に自分の意思表示継続）</li> <li>・昨年参加者による「1年ふり返りインタビュー」実施</li> </ul> ☆校長会の尽力により学校関係者の参加が大幅に増える。PTA、議会等の地域関係者も参加 上伊那広域連合が正式に郷土愛Pの事務局を担う
<b>第4回(辰野町)</b> 参加者：257名 (産55名、学108名、官69名、地域25名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演（趣旨、ビジョン共有のため）と分科会（8分科会）（地域の事例を深く学ぶため）2部構成スタイルへ</li> <li>・分科会では産学官の8事例発表、全参加者による意見交流会（参加者が自由に意見を語り合う、会の最後に自分の意思表示、ふり返りインタビュー継続）</li> </ul> ☆開催地の会場や意向に沿い基調講演（全員参加）と分科会（選択制）へ変更
<b>第5回(飯島町)</b>	記念すべき5回目を 伊那県発足から150年（明治維新から150年）の飯島町で

今  
回  
の  
キ  
ャ  
リ  
ア  
教  
育  
産  
学  
官  
交  
流

## 会で目指したい姿

刺激や学びをもらった！  
自分も何かできそう！  
やろう！

飯島が、上伊那が、  
もっと好きになった。  
誇りに思う！

キャリア教育や人材育成、  
地域づくりって  
おもしろい！

色々な立場の人とつながった。  
知らない考え方に出会えた！  
一緒にできることがありそう！

キャリア教育が分かる、  
なるほど！  
自分にも関わりがある

